

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①事業所、関係機関と連携して総合的な就労支援施策を推進	◇就労支援連絡会・日中活動系連絡会合同連絡会	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	6月5日開催 【参加者 23名】 近状報告・情報共有	各事業所の取り組みを知ることができた。 今年度の取り組みに向けての意見交換や、役割分担を行った。	終了・継続 → 同じ・変更	
②福祉施設から一般就労への移行・定着						
③余暇活動の場の確保						
④市民のスポーツ大会・イベント等に障がいのある人が参加する						
⑤障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実	◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催予定 ・ボランティア活動の窓口となる社会福祉協議会と連携し、障害のある人の余暇活動の支援を行うボランティアに参加協力の依頼		①にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせ 毎月開催 【担当者 7名】	地域の皆様に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で取り扱う商品を販売することができた。	終了・継続 → 同じ・変更	
⑥障がい者施設による物販の機会の充実			②11月25日開催予定 小牧市にぎわい広場(雨天決行)			
※			③とよめサロン利用活性化プロジェクトへの協力 9月27日開催 会場：とよめサロン 【8事業所参加】 ・物販 ・地域の保健相談 【マルシェ来場者78名】			

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
※続き	◇にじいろマルシェ こまき社協だより (12月号掲載予定)  ◇小牧市内で行うマルシェの情報共有、参加	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	10月号のこまき社協だよりにて、にじいろマルシェを11月25日に開催することを掲載チラシ・ポスターで周知する。		終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
	◇小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の情報共有、参加	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	①サンデーボランティア協力 身体障害者福祉協会主催 「ボッチャ教室」 7月よりふれあい総合相談支援センターの相談支援専門員が利用者へ試験的に参加呼びかけた。 9月より、事業所向けに案内開始。  ②10月より、とよめサロンにて福祉サービス事業所の作品展示。	①呼びかけた利用者の中では、「楽しかった」と、継続して参加されている。  ②希望事業所へ順番に案内していく予定。(1回目ふれあい障害者デイサービスセンター)	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
	◇障害者が働く事業所ガイドブックの更新		新規事業所に、ガイドブック掲載用のデータを作成を依頼した。		終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇市の調達方針に沿って優先的に発注を行い、施設などの仕事を確保	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	障がい福祉サービス事業所一覧などの冊子印刷や、会議の議事録作成、こまき福祉のおしごとフェアのポスターや、チラシ作成を依頼した。	優先的に福祉サービス事業所に発注をすることができた。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
①障がいのある人の雇用促進に関する広報・啓発活動の取り組み、企業などの理解・協力を推進	①障害者雇用支援月間にポスター配布・掲示依頼を行った  ②小牧市障害者雇用促進奨励金を支給	P38	①9月ポスター掲示 ・ 就労継続支援事業所 21事業所 ・ 委託相談支援事業所 6事業所 ・ 春日井公共職業安定所 ・ 尾張北部障がい者就業・生活支援センター ・ 小牧市役所 ・ 小牧市社会福祉協議会  ②32事業者に対して、奨励金を支給【雇用者 62名】	①ポスター配布・掲載により、雇用促進に関して、企業への理解に繋がっていきけるように働きかけができた。  ②障害者雇用促進に一定の効果があった。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	①来年度も継続して、障害者雇用支援月間にポスター掲示依頼を行い、理解推進に繋がっていく。  ②直接的な補助金があることで、企業としては人件費を抑制することができる。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更